

## 在校生歓迎のことば

日本赤十字九州国際看護大学、在校生代表として本学へ入学される新入生の皆様に歓迎の言葉を述べさせていただきます。新一年生のみなさん、御入学おめでとうございます。

本学の特徴でもある「国際」は、みなさんがこの大学に進学しようと思った一つの要因であっただろうと思います。最近「グローバル化」というのをよく耳にするとと思いますが、医療界も例外ではありません。飛行機や船などといった交通機関の発達によって外国人の患者受け入れが年々増加しています。また、今年の5月から佐賀県で重粒子線のがん治療センターが開設され、最先端の治療を求める外国人を今後受け入れる機会が増えるというような背景もあり、今や医療従事者も英語を始めとした外国語のスキルが必要とされつつあります。

「ひとりを看る目、その目を世界へ」のキーワードに表れているように、本学は国や文化を超えた医療看護ケアを行うことの出来る人材育成を以前から行っているということもあり、外国語のスキル向上に関しての取り組みは他大学と比べると非常に充実しています。必須の授業だけではなく、休み時間の特別講義やJICA研修に来られている外国人の方々と交流も行っているのです是非ともスキルを磨いていって下さい。

また、みなさんがよく耳にしている「チーム医療」という言葉に表されているように、今や医療界では様々な医療従事者との関わりが要求されており、それぞれの専門職としてチームでの活動が主流となり、看護師の専門職としての能力が求められます。それにより、ある特定のコミュニティだけでなく、様々な人との関わりを持つということが出来るスキルが非常に大切になってきます。

2年前の東日本大震災では、全国の赤十字病院の医療救護班がいち早く被災地にかけつけ、医療ケアを行いました。その時も、医師や看護師、連絡調整員の方など、様々な役割を果たす人達が一つのグループを構成し、多くの被災者の救護を行いました。災害救護においてコミュニケーション能力は非常に大切なものであり、非常時での迅速な活動を行う時にも、大きく関与していきます。

その様な場面でも十分に対応していくことが出来る様に、講義や演習などではいくつかのグループに分かれて授業が行われており、グループディスカッションなどの機会が設けられています。

また、学生の大学生活を支える学生自治会や、JAや福岡教育大学と連携して行っているアグリスクールなど、様々な場面での交流が盛んであるので、積極的に参加してコミュニケーション能力を強化していって下さい。

最後に、先輩として3つのアドバイスをしたいと思います。

まず1つ目は、いろいろな人と仲良くしていくという事です。

これは先ほど述べたように看護師として働いていく際にも重要である上に、勉学を行っていく際にも非常に大切なことであると感じているからです。また、同学年だけでなく先輩達とも仲良くなることでキャンパスライフを充実させることが出来ます。

2つ目は、勉強をしっかりとやっていくことです。

特に1年生では看護の基礎を多く学び、2年生になってからは本格的に臨地実習が始まります。基礎作りは非常に大切であり、実習中に直接患者さんと関わっていく際に困らないようにするために、しっかりと勉強を行ってください。

3つ目は、わからないことはそのままにせず友達や先生方、先輩などに質問をすることです。

看護を学ぶ量は多く、様々な課題も出てきます。その時には自分だけで解決するだけでなく、周りの人と助け合うようにしていくようにして下さい。その時にもしかしたら質問をすることによって自分だけで解決した時以上に良い結果が出る場合があります。自分がなぜわからなかったのかを考えて解決していける様、頑張ってください。

最後になりましたが、みなさんの今後のご健闘をお祈りし、新入生歓迎の言葉とさせていただきます。

平成25年4月4日  
在校生代表 光岡 正照